



令和6年9月28日(土)12時～17時開催

ボランティア愛ランド北海道2024inえべつ

～共につくり、共に生きるレガの街から～

(13:20～14:40)

「共に生きる ～ダウン症の書家翔子と  
共に生きて～」



〈プロフィール〉

講師：金澤泰子 さん (書家)

- ◆ 書家。ダウン症の書家・金澤翔子氏の母。明治大学卒。書家の柳田泰雪氏・泰山氏に師事。
- ◆ 著書に「ダウン症の書家 金澤翔子の一人暮らし (2019かまくら春秋社)」、「悲しみを力に (2019PHP研究所)」、「金澤翔子 伝説のダウン症の書家 (2017 平凡社)」他、多数出版。

(14:55～16:15)

第1分科会

若者世代のボランティア参加を考える  
～参加の契機をどう与えていか～

- ◆ 発表
  - シモ×ガク (学生地域定着自治体連携事業) について  
発表：成田裕之さん (NPO法人えべつ協働ねっとわーく事務局長)
  - EBETSUto (イベント) の取組み  
発表：馬場航平さん (NPO法人みなと計画 コーディネーター)
  - 江別市内における学生ボランティアの取組み  
発表：酪農学園大学の学生
- ◆ トークセッション  
『若者世代のボランティア参加を増やすためには』

第2分科会

地域活動を通して、  
地域の活性化を考える

- ◆ 基調説明
  - 地域活動を通して、地域の活性化を考える  
説明：佐藤誠一さん (NPO法人シェロクリ理事長)
- ◆ 実践発表
  - シェロクリの理念と活動内容
  - 自治会での取組み～連絡や会費納入
  - 新たな担い手～若い世代へのアプローチ・  
シルバー世代のラインワークス活用の広がり  
発表：佐藤誠一さん、長岡慶一郎さん  
今野美生さん (NPO法人シェロクリ)
- ◆ まとめ：江別市社会福祉協議会

第3分科会

令和6年能登半島地震の  
被災地支援活動について

- ◆ 活動報告
  - 災害ボランティア活動に従事して～現場で思ったこと～  
報告：岸田 理さん (室蘭ボランティアネットワーク代表)
  - 被災地での支援活動の実際  
報告：熊谷雅之さん (石狩思いやりの心届け隊 隊長)
- ◆ ディスカッション  
ファシリテーター：宮本 奏さん (NPO法人きたのわ 代表理事)

第4分科会

もっと素敵にレクリエーション

- ◆ レクリエーション実践
  - 講師：南部広司さん (ケルクリエーション倶楽部 代表)

～全体プログラム～

- 11:00 ～ 受付
- 12:00 ～ オープニング アトラクション 文京台一輪車クラブ
- 12:15 ～ 開会式
- 12:45 ～ 第48回道新ボランティア奨励賞 贈呈式
- 13:20 ～ 記念講演
- 14:55 ～ 分科会
- 16:30 ～ 閉会式 (グラッドファイナル)

- ★ 参加費：一般2,000円、学生500円 (小学生以下、無料)
- ★ 定員：800名 [先着順]
- ★ 場所：江別市民会館 (江別市高砂6)



お問い合わせ先

北海道社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課 坂本、谷

☎：011-271-0683 FAX：011-271-3956